

施設の概要

■ 施設名称

市道駅前太平線

■ 施設愛称

バード・ハット

■ 施設所在地

鳥取市今町2丁目～栄町

■ 事業費

約 1,070,000 千円

■ 工期

平成 24 年 7 月着工

平成 25 年 6 月完成

■ 施設内容

大屋根

①規 模:幅27m 延長61.5m 高さ14.6m

②構 造:鉄骨造(鋼管トラス)

・妻部分(端部)をガラスにし、透明感を演出。

・屋根・・・膜構造(全体の約3分の2を電動により開閉。片側約8分。)

※東京ドームなどで使用されているもの。

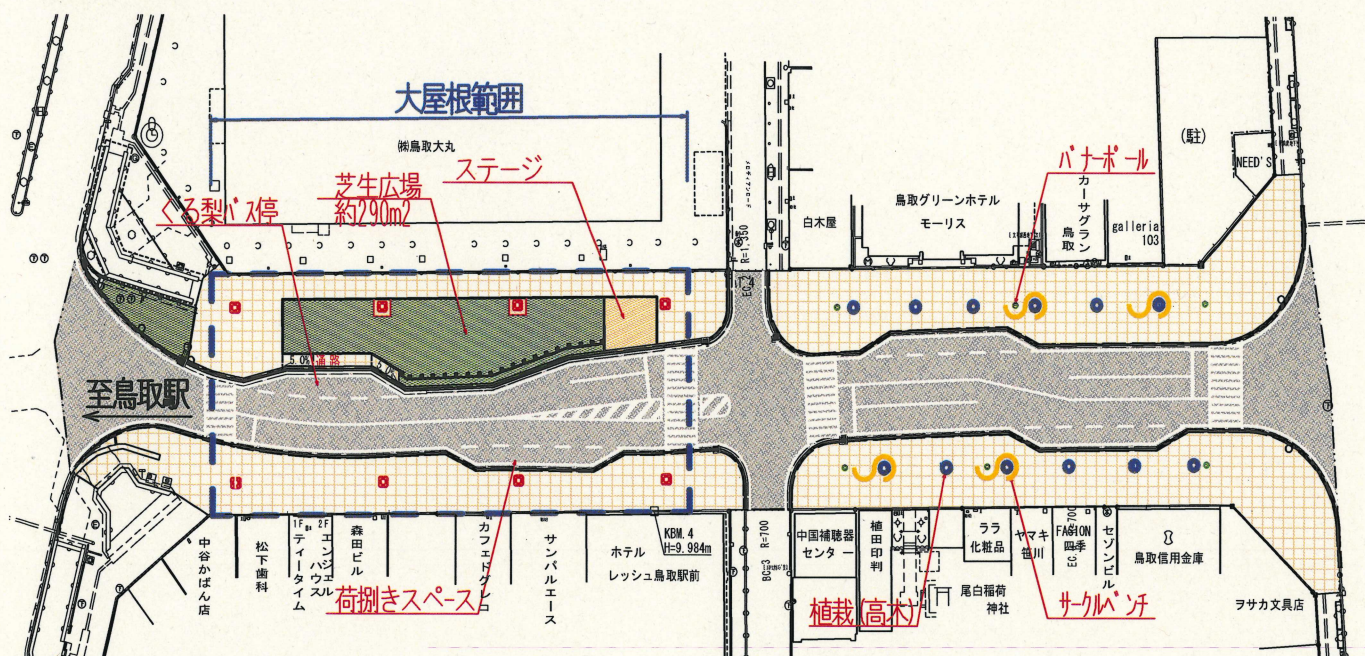
※歩道の底部分は、採光を考慮し、合せガラスを採用。

③その他:演出用照明、緊急通報装置、防犯カメラ、バナーポール

※演出用照明等の照明施設は全てLED照明。

芝生広場:約290m²

■ 施設平面図



◆ イベントの問い合わせ先 ◆

新鳥取駅前地区商店街振興組合 《連絡先》 TEL : 0857-23-5550

FAX : 0857-26-3331

e-mail : info@eki.or.jp

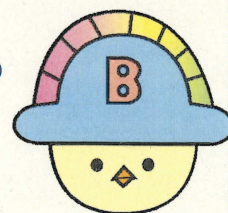
◆ 施設の問い合わせ先 ◆

鳥取市都市整備部道路課

《連絡先》 TEL : 0857-20-3264

FAX : 0857-20-3048

e-mail : douro@city.tottori.lg.jp



鳥取駅前太平洋線再生プロジェクト

市道駅前太平洋線 賑わい空間

バード・ハット

ご案内



「砂像のまち」鳥取市

市長からのメッセージ



本市では中心市街地の再生に向け、鳥取駅周辺地区を「人が集まり、ものや情報が行き交う高度利用を進めるにぎわいのある経済・交流の核」として位置づけ、平成19年11月に「鳥取市中心市街地活性化基本計画」を策定し、内閣総理大臣の認可を受け、取り組みを進めて参りました。

その主要な取り組みの一つとして、地元商店街、近隣商業者、鳥取市中心市街地活性化協議会及び鳥取市との官民連携による「鳥取駅前太平線再生プロジェクト検討委員会」で計画を策定し、日常的な人の流れを生み出すことのできる、大屋根整備及び道路整備を行いました。

今まで天候に左右され、また雪の季節に開催が難しかった様々なイベントを計画的に行うことができ、日常的に周辺商店街や周辺道路に人のにぎわいや流れを生み出すことで、駅周辺再生の起爆剤となることを期待しています。

さらに、通常の維持管理、広場の運営等は地元商店街組合に委託をし、官民共同・連携により運営を行う全国的にも珍しい運営方式を採用しております。愛称も『バード・ハット』に決まりました。鳥取駅前の新たなシンボルとして、多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。



平成25年7月

鳥取市長 竹内 功



■鳥取駅前大平線再生プロジェクトの経緯

平成 20・21 年度に、鳥取市と鳥取市中心市街地活性化協議会が中心となった実行委員会により「鳥取駅前・賑わいのまちづくり実証事業」を実施しました。

この事業では、4車線道路のうち2車線を閉鎖し、その上に芝生を敷いて人が集える空間を整備し、オープンカフェやバザー、パフォーマンスなどのイベントを開催して、賑わいの創出と回遊性の向上について検証しました。その結果、人の流れが大幅に増加するなど「こうすれば街が変わる。」という一定の成果を得ることができました。



実証事業の成果を踏まえ、地元商店街、近隣商業者、鳥取市中心市街地活性化協議会、鳥取市等で構成する「鳥取駅前太平線再生プロジェクト検討委員会」を立ち上げ、賑わい再生のための官民連携プロジェクトを始動、平成 23 年 1 月に基本計画としてまとめました。



基本計画をもとに、鳥取市は市道駅前太平線の駅前～太平線通り交差点、延長およそ 160 m の区間において、4車線道路を2車線に変更し、そこに芝生広場、大屋根などを整備しました。

また、新鳥取駅前地区商店街振興組合は、芝生広場・大屋根などの道路の管理と、利活用するためのルールの検討や賑わいを創出するためのイベント企画・実施等を運営していきます。

